

——例の事件もようやくすべて片がつき

私は久しぶりに自宅へと戻る



私は昇進し  
法廷や調査ではなく  
デスクワークが  
主な仕事内容となり

個人的に調べたい  
事件があっても  
自ら出向く事は  
殆ど出来ない立場と  
なった



だが今回は  
同じ事件を成歩堂が  
長年に渡り調査して  
いたため

互いに連絡を取り合い  
久しぶりにあの男と連携して  
事件を解決する感覚を味わう  
事が出来た

しかし……彼はこの事件の調査で  
長年地下に潜伏しており  
私は局の任務で多忙を極め  
電話で声は聞いても  
互いの顔をもう随分長い事  
見ていない……









「おかえり」  
ではない!

一体どうやって  
この部屋に  
入ったのだ!?



…ああ

帰ったんだ  
おかえり



……だから  
誰だと  
訊いている



……フツ

…予想はしてた  
けど……実際  
シヨックだな…



……  
おまえ……

…本気で  
ぼくが誰だか  
わからないのか?











は...

.....!!



潜伏調査の為に  
変装したとは  
聞いていたが...

ソレは少々  
やりすぎでは  
ないか.....?



.....用が  
ないならば

早くキミを待つ  
家族の元へ  
帰りたいまえッ!!



.....  
...大体、キミは  
こんな時間に  
こんな所にいても  
良いのか?





用があるならば

勿体ぶらずに  
さっさと  
言いたまえ！

つれないなあ  
長い事地下に  
潜っててハトハト  
なんだ、少しくらい  
いいだろ



自分の名前も  
ハッキリと  
名乗れぬ男に

ひどい奴だ  
などと言われる  
筋合いはない！



わかったよ  
……じゃ、  
そろそろ

ゲームを  
始めようか



お前に逢いた  
くてもずっと我慢  
して、やっと今夜  
逢えたのに

ぼくが何者なのかも  
解らない上に「出てけ」  
なんて、ひどい奴だな



ゲーム、だと  
………？

ぼくと  
ポーカーで  
一発勝負して

もし  
おまえが  
勝てたら



おまえは  
ぼくが何者か  
確信出来ない  
まま………

この部屋で  
ぼくに抱かれる。



おまえの  
要求通り

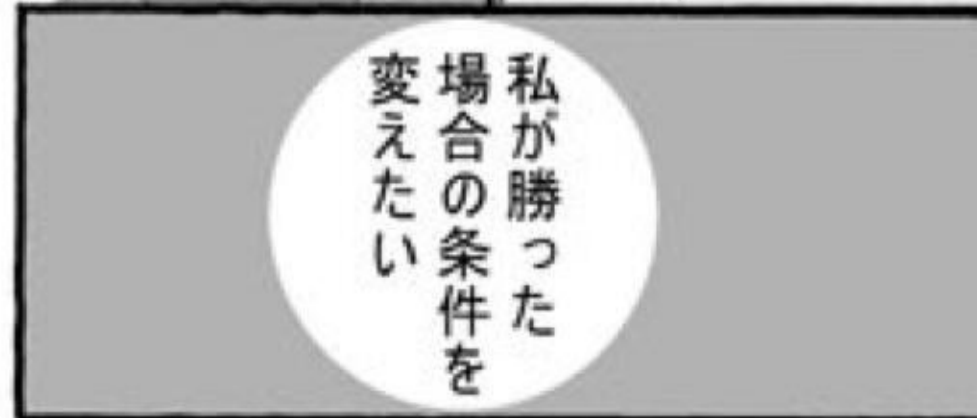
おとなしく  
帰ってやるよ



そしてもし  
ぼくが  
勝ったら……



!!?



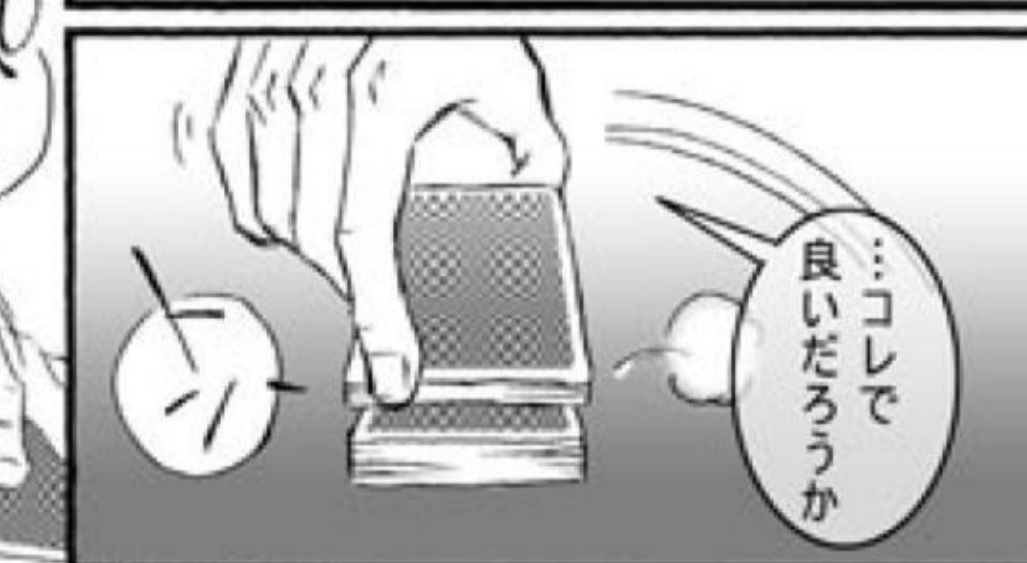




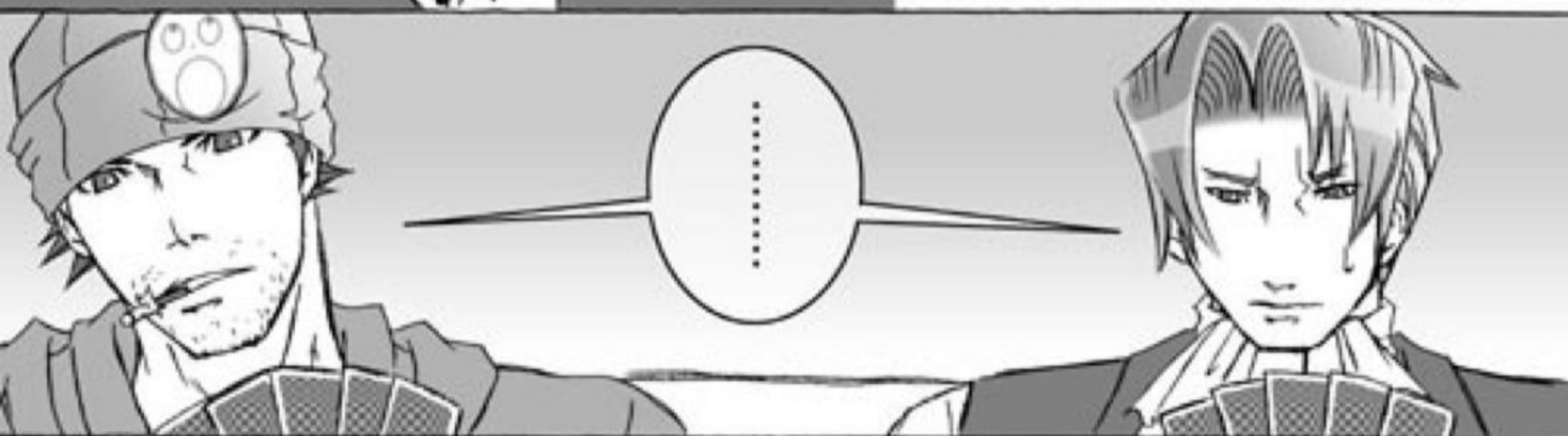














ショー  
ダウンだ

……いいだろう  
——それじゃ



そういう  
キサマは  
どうなのだ……!



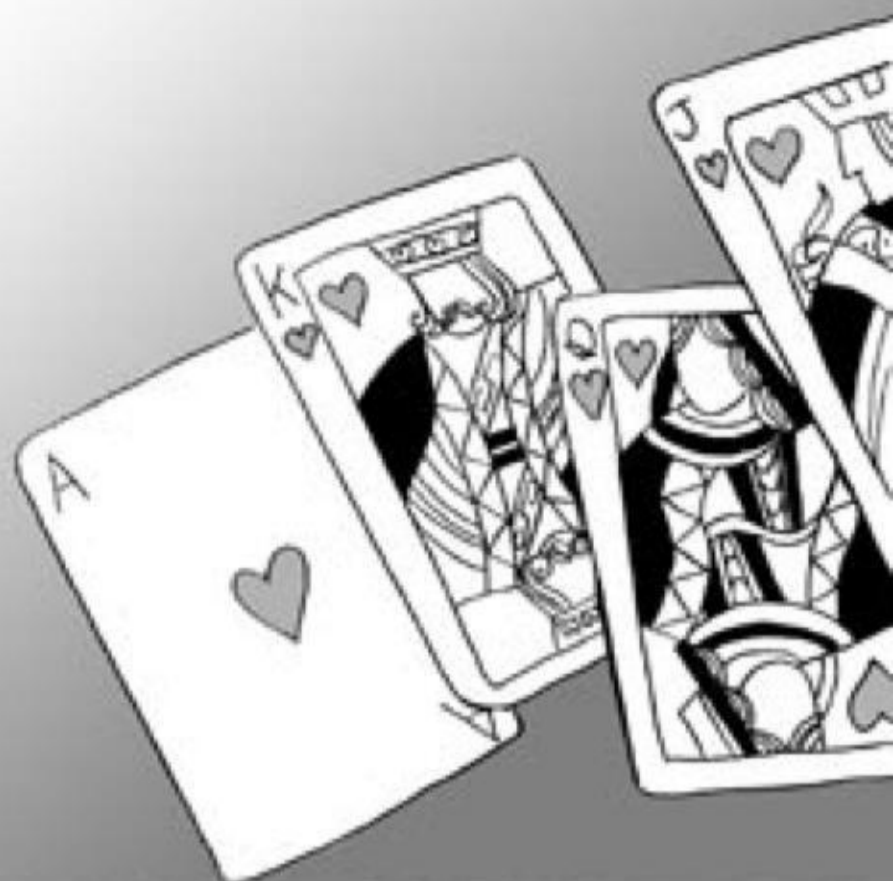
P=ラララ



……!!



エースの  
スリーカード  
……か  
なかなか  
いい手役が  
揃ったね







...もっとも

終わった後にはむしろ「剃るな」って言われるかも知れないけどね

.....  
バカな!



本当は嬉しくて仕方ないんだらう?



ほち「ココ」もこんなに力たく尖っちゃって



ほくの「こと」そんなに恋しかった?



見ろよ  
身体は正直だな











…名前  
なんて

大して重要な  
モノじゃない



ただ……  
以前聞き慣れた  
声が聞こえない  
のは……その

何というか……  
違和感が



それが一番  
大事な事だ



今

こうして  
お互い、生きて  
ここにいます



違っっ

…それは、  
…そう、だが…







元々変装用に  
茜ちゃんから  
借りてた帽子  
なんだけど

この傷が治るまで  
結局今も借りて  
被ってるんだ



失敗作をキミに  
被せるとは……  
とんだ罰ゲーム  
だな

茜クンの  
帽子……？

……ム？



だろ？  
彼女にそう  
言ってるやっ  
くれよ

父の日に  
プレゼントする  
つもりで作った  
らしいね

そう



でも色が  
派手すぎて  
失敗だった  
みたいだ

父の日？



そうだ……  
ほくは  
変わった

そうしないと  
……とても  
耐えられなかった  
から



もう一つ  
教えようか

さっきおまえは  
ほくが変わった  
って言ったね

……ム？



!?



……出来るか  
出来ないかは

やって  
みなければ  
分からない  
だろう……!!!



もしかしたら  
……もう  
おまえでも

ほくを……  
以前のほくに  
戻す事は出来ない  
かも知れない





…キミが  
いない日々  
の……

あの苦しさに  
比べれば  
……ッ



……って  
待った！

おまえ  
まだちゃんと  
解しきれて  
な……

平気だッ！



みつ……



……ッ!!!



どのような  
痛みだろうと

痛みの内には  
入らない……ッ  
!!!



はっ  
はっ  
はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ



…入ったぞ

……ああ



はあ……っ



久しぶり  
なのにこんな  
無理をして

すぐに動いたら  
……おまえ  
裂けちまうだろ？

あっ  
♡



じゃあ  
しばらく

このまま  
いようか

きゅっ



ム……ッ！

かあ  
ああ  
あ



ねえ  
ところでさ

春の裁判の  
記録、見た？

う……ム  
君が被告に  
された事件  
だろうか



なッ……!?

だって





「賭けていたのは  
おのれのプライド  
だけだよ」

……  
……  
プライド……



あれは純粹な  
ゲームだと

オドロキ君が  
法廷で立証して  
くれたんだけど  
ね……



!!

中身は七年间  
誰にも見せて  
いない



そう……  
賭けて  
いたのは

コレの  
中身だ



ぼくはこの中身を  
勝負に賭ける事を  
約束させられた上で  
ポルハチに雇われた

「コトで働くカズミは  
アンタも勝負に何が賭けて  
買物にやめて買わないと  
困るんだな」

「こいつはアンタ自身……それと  
もう一つ、アンタの一番大事なものを  
賭けて勝負しろ」

一回でも  
負けたら……

ぼくは  
何もかもを失う  
……必死だった  
……

……でも  
勝ち続けている  
うちにそれも  
快感になった

負ける気が  
しなかった

何故だか  
わかる？

「……そうだな……その首に下げてる  
デカイロケットなんかどうだ」

「そこに入れてるモノは  
アンタにとつて、さぞや大事な  
モノなんだろうなあ……」



……おまえが  
いたからだ

!!



キッ



おまえがいて  
くれたから  
なんだ

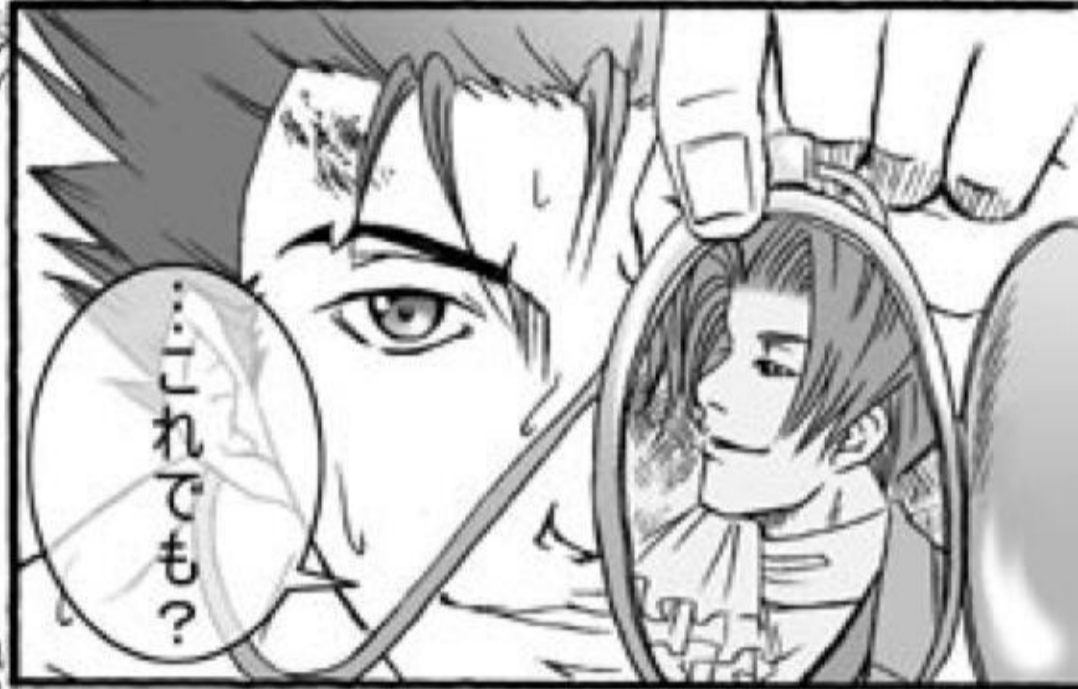
……おまえ  
……おまえ  
……おまえ  
……おまえ



ぼくが弁護士に  
なれた理由と  
同じだよ

キッ

……今。ぼくが生きて  
……いられるのは……

















…キミはすでに  
ポルハチの契約  
からは解放されて  
いる

あの事件は  
解決したのだよ

それに…私は  
今までも……  
…キミが望むなら  
これからもキミと  
共にある



…だから  
はやく

『弁護士・成歩堂龍一』  
に戻りたまえ！



もうだ。